

# 有害プランクトン情報 (平成 30 年度 - No. 6)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 9 月 第 1 回 内湾 (8 地点) 9/12 内房 (7 地点) 9/12
- 9 月 第 2 回 内湾 (8 地点) 9/18 内房 (7 地点) 9/19
- 貝類漁場内 小櫃川河口 9/27

## 【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下、pH8.5 以上、酸素飽和度 150%以上) は沖合第 2 回に内湾で確認され、優占種はタラシオシラ属でした。
- ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

## 【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高密度はディノフィシス アキュミナータが 9/18 に船橋で 4.70 細胞/mL でした。なお同種は 5/22 に羽田沖で 19.35 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス カウダータが 9/12 に勝山沖及び 9/19 に富浦で 0.10 細胞/mL、ディノフィシス ロツンダータが 9/12 にアクア北、9/18 に千葉灯標及びアクア南で 0.05 細胞/mL でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 9/12 内湾 渦鞭毛藻 ケラチウム フルカ (図 1)
- 珪藻 スケルトネマ属
- 内房 渦鞭毛藻 ケラチウム フルカ
- 珪藻 キートセロス属
- 9/18 内湾 珪藻 キートセロス属、タラシオシラ属 (図 2)
- 9/19 内房 渦鞭毛藻 ケラチウム フルカ
- 珪藻 キートセロス属、タラシオシラ属

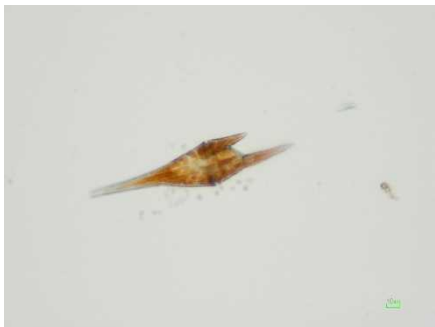
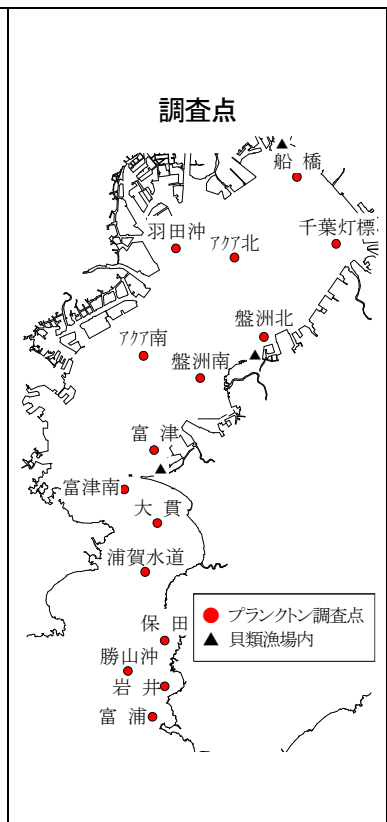


図 1 ケラチウム フルカ (9/12 大貫)



図 2 タラシオシラ属 (9/18 羽田沖)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp